

滋賀県近江八幡市

社会資本総合整備計画書

(近江八幡市)

計画の名称 災害時に利用できるみんながどう元気で
健康な環境づくり(防災・安全)(第2期)

計画の期間 平成29年度～平成33年度

平成29年 3月 提出

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	災害時に利用できるみんながつどう元気で健康な環境づくり（防災・安全）（第2期）										重点計画の該当	—																							
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）					交付対象	近江八幡市																												
計画の目標	<p>安心安全なまちづくりの観点から、災害時に周辺住民の一時避難場所として機能する都市公園の整備を図る。</p> <p>また、少子高齢化社会の到来により、健康への関心が高まると同時に、市民の健康増進を図る運動に対するニーズはますます増加・多様化している。そのような状況の中、本市においては、市民一人当たりの都市公園面積の割合が3.93㎡/人であり、全国平均、県平均と比較しても低い状況にあることから、子どもから高齢者までが利用できる健康増進のための運動施設を都市公園として整備し、隣接地に計画している一般廃棄物処理施設からの熱エネルギーを利用し、緑地の整備を通じてCO2の削減も図る。</p> <p>さらに、既存の都市公園施設が老朽化していることから、利用者が安全で安心に利用し健康増進が図れる施設として長寿命化を行い、利用者を増加させる。</p>																																		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 市民一人当たりの都市公園面積の割合を3.93㎡/人から4.50㎡/人に増加させる。 市内体育施設利用者数を216,844人から432,512人に増加させる。 1km圏内に居住する住民（竹町・東町・池田本町・東横関町・若宮町）の一時避難場所への収容率を0%から100%に向上させる。 																																		
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値 (H31末)</th> <th>最終目標値 (H33末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民一人当たりの都市公園面積 一人当たりの面積(㎡)＝市内都市公園の面積(㎡)÷人口</td> <td>3.93㎡</td> <td>4.07㎡</td> <td>4.50㎡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市内体育施設利用者数 市内各体育施設の利用者数の合計(人)</td> <td>216,844人</td> <td>345,517人</td> <td>432,512人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1km圏内に居住する住民（竹町・東町・池田本町・東横関町・若宮町）の一時避難場所収容率 一時避難所収容率(%)＝避難場所となる有効面積(㎡)÷(対象避難人口(人)×有効避難単位面積(㎡))</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)	市民一人当たりの都市公園面積 一人当たりの面積(㎡)＝市内都市公園の面積(㎡)÷人口	3.93㎡	4.07㎡	4.50㎡		市内体育施設利用者数 市内各体育施設の利用者数の合計(人)	216,844人	345,517人	432,512人		1km圏内に居住する住民（竹町・東町・池田本町・東横関町・若宮町）の一時避難場所収容率 一時避難所収容率(%)＝避難場所となる有効面積(㎡)÷(対象避難人口(人)×有効避難単位面積(㎡))	0%	100%	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																															
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)																																
市民一人当たりの都市公園面積 一人当たりの面積(㎡)＝市内都市公園の面積(㎡)÷人口	3.93㎡	4.07㎡	4.50㎡																																
市内体育施設利用者数 市内各体育施設の利用者数の合計(人)	216,844人	345,517人	432,512人																																
1km圏内に居住する住民（竹町・東町・池田本町・東横関町・若宮町）の一時避難場所収容率 一時避難所収容率(%)＝避難場所となる有効面積(㎡)÷(対象避難人口(人)×有効避難単位面積(㎡))	0%	100%	100%																																
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	3,086百万円	A	2,659百万円	B	425百万円	C	2百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.06%																							
交付対象事業																																			
A 1 基幹事業																																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考																		
1-A1-1	公園	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	都市公園事業（近江八幡市立健康ふれあい公園）	運動公園の整備等 A=4.6ha	近江八幡市	H29	H30	H31	H32	H33	2,474	—	—																			
1-A1-2	長寿対策	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	公園施設長寿命化対策支援事業（近江八幡市立安土文芸の郷公園）	総合公園の修繕等 A=6.3ha	近江八幡市	H29	H30	H31	H32	H33	185	—	策定済																			
合計													2,659																						
B 1 関連事業																																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																				
1-B1-1	道路	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	道路改良事業（市道）	現道拡幅・舗装 L=1.6km	近江八幡市	H29	H30	H31	H32	H33	410																					
1-B1-2	道路	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	道路照明灯設置事業（市道）	道路照明灯12基	近江八幡市	H29	H30	H31	H32	H33	15																					
合計													425																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																							
1-B1-1	幹線道路からの進入路や周辺道路を整備することにより、公園利用者の安全と利便性を向上させ、利用者の増加を図る。																																		
1-B1-2	夜間利用者の安全を確保することにより、夜間利用者の増加を図る。																																		
C 1 効果促進事業																																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																				
1-C1-1	公園	一般	近江八幡市	直接	近江八幡市	案内板設置事業	案内板20基	近江八幡市	H29	H30	H31	H32	H33	2																					
合計													2																						
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考																							
1-C1-1	公園利用者の車両等を円滑に誘導し、歩行者等の安全を図るとともに、広域的な利用推進を図る。																																		
D 1 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）																																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考																				
									H24	H25	H26	H27	H28	0																					
合計													0																						

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成29年3月1日

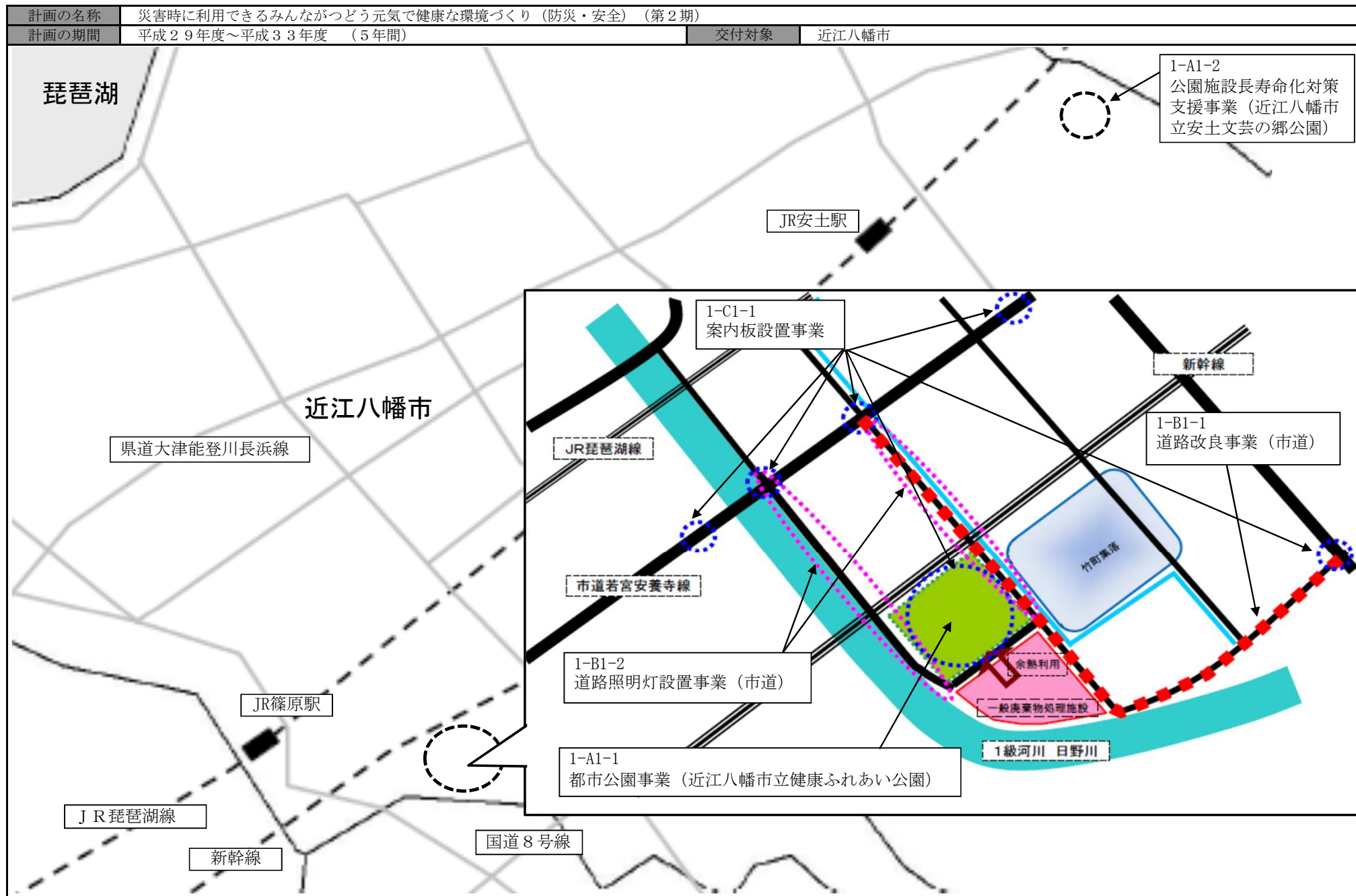
計画の名称	災害時に利用できるみんながつどう元気で健康な環境づくり（防災・安全）（第2期）			重点計画の該当	—
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）	交付対象	近江八幡市		
計画の目標	<p>安心安全なまちづくりの観点から、災害時に周辺住民の一時避難場所として機能する都市公園の整備を図る。</p> <p>また、少子高齢化社会の到来により、健康への関心が高まると同時に、市民の健康増進を図る運動に対するニーズはますます増加・多様化している。そのような状況の中、本市においては、市民一人当たりの都市公園面積の割合が3.93㎡/人であり、全国平均、県平均と比較しても低い状況にあることから、子どもから高齢者までが利用できる健康増進のための運動施設を都市公園として整備し、隣接地に計画している一般廃棄物処理施設からの熱エネルギーを利用し、緑地の整備を通じてCO2の削減も図る。</p> <p>さらに、既存の都市公園施設が老朽化していることから、利用者が安全で安心に利用し健康増進が図れる施設として長寿命化を行い、利用者を増加させる。</p>				

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	383.5	299.0	361.0		
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	383.5	299.0	361.0		
前年度からの繰越額 (d)	0	133.5	273.3		
支払済額 (e)	250.0	159.2	399.8		
翌年度繰越額 (f)	133.5	273.3	234.5		
うち未契約繰越額 (g)	133.5	40.7	44.6		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	34.8%	9.4%	7.0%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	工事用資材運搬経路の再検討の必要が生じ、関係機関との調整に不測の日数を要したため。				

(参考図面)



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:災害時に利用できるみんながつどう元気で健康な環境づくり(防災・安全)(第2期)

事業主体名:近江八幡

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等の適合性	
1)上位計画等との整合性を確保している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえた目標の設定がされている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標及び事業内容の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
⑤計画の具体性	
1)継続的な整備が見込まれる。	○
2)新規の施設整備を行う場合、実施の確実性が高い。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○